青天井の下で採炭

まだまだ改善を要す坑内條件

宮川組合長欧亜旅行記（14）

しん陽から自動車で約一時間ほどで撫順に着いた。

ぶ順の労働組合連合会幹部の方々の多数の出迎えを受けて挨拶を交わした後、日程の打合せを行つたが、われ〳〵炭鉱に関係のあるものだけは龍鳳炭鉱の坑内を見学することにして、その他のものはこの炭鉱の坑外施設を見学することになつた。

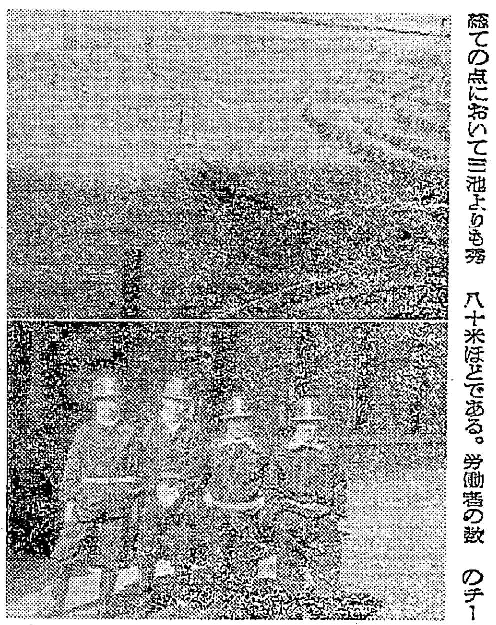
この龍鳳炭鉱は終戦直後破壊され水没して非常に哀れな状態であつたそうであるが、一九四八年八月に解放され、その後着々と復興が進められ、現在ではすつかり立直つて労働者の数は凡そ一万七千名で、年産約百七十万トン（月産約十五万トン）を出炭している。

この炭鉱は日本人が設計計画したそうだが、竪坑が約三百七十米で三段式のケージが運転されていた。

この炭鉱を日本が経営していた当時は非常にガスが多くて悩まされていたそうであるが、現在ではこのメタンガスをボーリングにより直接ぬきとつて、それを坑外の方で利用しているということである。

採炭方式は緩層でヘツパ採炭であるが、労働時間は拘束八時間で、採炭夫の賃金は月額百五十万—百六十万（日本円にして約二万五、六千円）程度、その外に奨励金などがあるので相当な高給を受けている。

福利厚生施設としての社宅は現在四万平方米を改修し、更に新しい社宅を四万平方米張建設している。昨年度一年間に政府より福利厚生資金としてこの龍鳳炭鉱に出された補助金は、二百二億円である。これで、病院食堂、休養施設、浴場、学校等が造られたということであつた。


寫眞（上）撫順の露天掘現場（下）龍鳳炭鉱を見学して大矢宮川、澤田、本田氏（右より）

この坑内の実際は、必ずしも総ての点において三池よりも秀れているとは考えられなかつた。われ〳〵は見学後の感想を聞かれたが、保安上注意すべき点が二、三あつたので、この点を率直に述べた。日本の保安法に照し合せるならば、抵触する個所がまだ〳〵あるように見受けられた。

引続いてぶ順の露天掘りを見学した。このぶ順の露天掘りも日本人の技術者がはじめたものであるが、現在では全部、中国人の手で復興させ生産している長さが六千六百米、幅の広いところが千五百米、炭層は厚いところで百二十米、薄いところで八十米ほどである。労働者の数は約一万四千八百六十名、一日の生産量が約一万一千トン—一万二千トン、今年度の計画は年間三百二十二万トンだそうである。

このぶ順炭鉱においても文盲者が八十五%—九十%もいたそうであるが、現在では六千八百名が業余学校に通つており、三千四百名に上るものが文化学校に通つている。文盲者は現在千人程度しかいないということである。

文化、体育の方面に対する活動も非常に活発で、例えばスポーツに例をとると、バスケットのチームが四十二、女性チームが七、計四十九チーム、バレーチーム五二、女性チーム六というように、凡ゆるスポーツ或いは文化方面に相当力を注いでいる。

われ〳〵地下数千尺の坑内という、うす暗い悪条件の下で働いているものにとつては、このような青天井の下で機械化された採炭をやつているこの露天掘りを見て、全く羨しく感じられた次第であつた。

これら炭鉱労働者の労働条件とか、坑内保安施設をいろ〳〵見て、われ〳〵が率直に感じたことは、相当に悪条件であつたものが、あれだけ復興されたとはいうものの、まだ〳〵坑内条件の改善ということについて努力を要する必要があるのではないかということである。

われ〳〵が坑内の労働者と直接いろ〳〵と話合つてみても、保安に対する認識など、現在の三池の組合員よりも積極的であるという風な印象は受けなかつた。労組の幹部も率直にまだまだ改善の余地があるということを認め、われ〳〵に参考になる意見を大いに聞かして貰いたいと云つていた。

しかし炭鉱の労働者であるという同じ立場にたつて話合う中に何か一脈相通ずるものを感じた。これはお互いに生命をかけて働いている炭鉱の地下労働者のみが知る気脈ではなかろうか

權力に驚く新市長

中央委員会で市長縣市村議挨拶

われ〳〵の、私たちの市長、市会議員をと、組織をかけて闘つた激しい闘いも各方面からの異常な注目の裡にガツチリ組んだ団結の力は見事なまでに発揮されて、高らかな凱歌とともに今さらながら組織の固さが再認識された。

三鉱労組からの大牟田、荒尾全員当選と相まつて同じく両市長のポストも革新陣営の占めるところとなり、町の隅々で話題をさらつているが、今や大牟田の歴史を新しい局面に展開しだした。しかし労働都市大牟田として考えた場合にはこれは当然の結果であり、むしろ遅きに失したとも思われる。

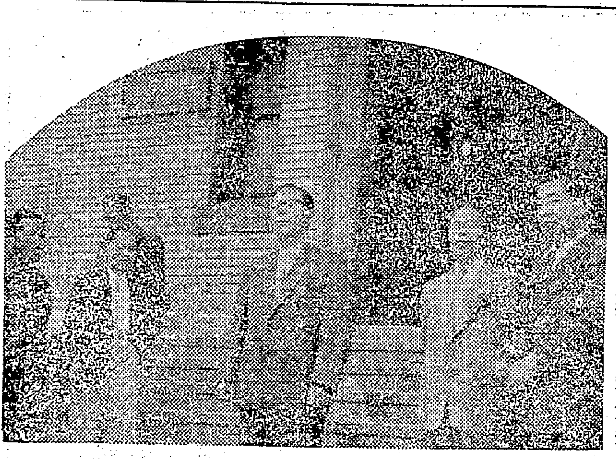
去る八日の中央委員会には、この新しい両市の市長、市議を迎えて会場はときならぬ拍手と声援にどよめいた。

市政發展のために

先ず細谷大牟田市長が演壇に立ち皆さんの力でめでたく当選することが出来ました。今まで権力というものを知らなかつた私は市長のポストにおさまりあまりにも大きい権力に驚いています今後は本当に市政の発展のために努力して行きたいと思います皆さん方の充分な支援と指導を仰ぎ現実の闘いの中で大きな成果を収めたいと思います。お隣りの先輩坂田さんの協力を得て労働都市大牟田、荒尾の発展のために皆さんと共に闘い抜きたいと思います。

公約の實行

ついで坂田荒尾市長が公約通り正しい政治をして真直ぐに歩いていきます。そして生活の安定 幸福を増進するために前進することは勿論ですが、皆さん方の気持をさらに中小企業、農民、漁民など一般市民の人々につなぎ合せる役目をやつて行きたいと思つています。今後一層の御支援、御声援をお願いします。そして細谷さんと手をとり協力を得て市政を進めて行きます。また市議に三鉱労組公認全員当選という成果は明らかに団結の結果であり、この力を市の発展に、さらに新しい日本の発展のために活かして行きます様心からお願い致しますと、それ〴〵挨拶が行われると、満場から破れるような拍手が浴びせられた。続いて浦川県議以下、県、市、村議の当選者がズラリと壇上にならび「今後政治の中闘として頑張ります」との決意が述べられ議事に入つた。


初登廳の日市役所玄關で見送りの組合員に挨拶する細谷市長

議長も与党派から

初の荒尾市議會で革新の勝利

保守か革新か、市長、市議選以来議会工作に市民注視の的になつていた、初の荒尾市議会は十三日午前十時から開かれた。反坂田市長派の愛市連盟（保守）は、市長のポストを革新派から握られたので、議会工作には必死の策謀を練つて出席し、議場は何か白々しさがあつた。

先ず議長選出に入り、革新派より推薦した安田一夫氏を万場一致で決定、つゞいて副議長選出に入ると、投票ということになり、革新陣営からは職組公認の田添国男氏を推した結果、田添国男十七票、八木忠治十一票、中尾数馬二票で正副議長とも革新陣営に帰した。常任委員長の選出も投票ということになり、それぞれ専門部別に投票した結果

監査委員	江副 武二
教育委員	寺田 武雄
総務委員長	黒田 照俊
副〃	樋川 次郎
建設委員長	益田 武利
副〃	小森 隆一
文教委員長	坂田国太郎
副〃	前畑 護
厚生委員長	浦浜 寛光
副〃	松山 文蔵
経済委員長	楠村 又男
副〃	屋 猛
交通委員長	村本 新
副〃	坂口 操

以上のように常任委員長、副委員長は革新で占め、保守派の野党と対決することになつた。

スポーツ盛ん

地域、職場で對戦

新緑のスポーツ・シーズンがやつて来て、五月の青空の下に職場で地域でいま盛んに各種スポーツが行われている。

三川では三鉱少年野球に備えて早くも出場チーム選抜を行うため去る九日、新港グラウンドで地域の少年たちの間で手合せが行われた青空の下で少年たちの打ちまくる球音がカーンとさえて早くも優勝戦へと夢を馳せている。

宮浦も分会対抗のバレーが去る八日に予定されていたが、都合で来る廿二日に順延され、早くも組合横のコートでは練習に励んでいるチームがあり、職場から解放された昼休みの一ときにみな嬉々としてボールに心を打込んでいる。出場チーム十数分会が予想されている。

四山、ここでも十五日と二十二日の両日に亘つて行われる地域対抗のソフトボール大会が予想されており、地域の間では早くも大きな話題を呼んでいる。

母の日に慰安會

（原万田二區）

原万田二区地域分会では五月八日の母の日に母親に感謝の気持ちを捧げましようと赤い花 白い花を胸につけた分会員達は午前八時半金星映画館に続々と詰めかけた。開会劈頭原分会長は今般行われた地方選挙に、県会に酒井候補、市会選挙闘争中最も困難と思われた地に益田候補を当選させることが出来た事は全く皆が一致団結した結果の賜であると共に、今後あらゆる闘いにこの結束の力を忘れる事なく闘われん事を望むと挨拶し企闘、選闘の意見発表を行い映画観賞を行つて午後三時慰安会を終了した。（原万田発）

要求は無理でない

福利施設を改善させよ

前段闘争をかゝげて地域や職場でわれ〳〵はいろ〳〵なものを闘いとつた。

しかし支部を通じ本部へ集約された、未解決の要求事項が大、小いまだ三十項目位ある。

要求するのが無理か、会社が頑迷か、編集部では先ず、社宅の要求項目を実地にみることにした。

○雨洩り補修の件

いつも問題になるのは、ヒサシ改造の問題であるが、会社は修理をするといつていまだにホツタラかしている。天井から雨洩り、横から降り込み、かてゝ加えて社宅は狭く、食事も勉強も寝室も一緒というのが文化的な生活であろうか。

○社宅内道路補装の件

社宅街を出るまでが長靴がいるというほど、社宅内の道路は悪い。天気の好い時も穴があいていて危険極りない。

○共同水道場に電灯設置の件

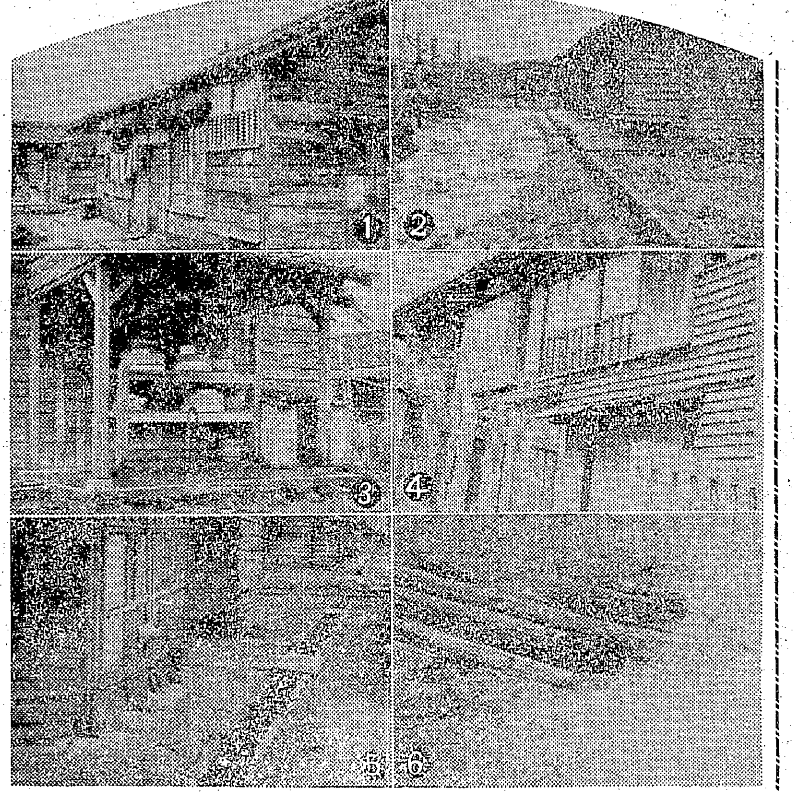
勝手知つたとはいえ人間は夜暗い時目が見えぬように出来ている。これは親のせいではないまして夜一寸、子供に水を汲みに行けとは危くていえない。夜でも水道場で洗い物が出来るよう電気がほしいものだ。

○障子戸、硝子戸切替の件

雨が降れば雨戸をしめないと、相手が紙の障子紙ではタマツタものではない。雨戸をしめれば暗くなるし、電気をつければ電力量があがる。全く非文明で苦労の多い社宅生活、曇の日には心配で外出が出来ない。

○便所マンホール改造の件

玄関と便所が一緒で、昔ながらの便所のつくりであるので、ウヂ虫が玄関から訪問するという現象が起る。衛生だ、衛生だというけれども、こんな施設じや衛生もヘツタクレモナイ。



【寫眞說明】

1、スキ間ダラケで雨の降り込む社宅。

2、こんな広い道路も道が悪く、通る人もいない。

3、せいとんはしているものの、夜は危くて寄れない共同水道。

4、安ヘタゴじやありません。労働者の家です。

5、便所じやありません。日本一の炭鉱三池の社宅です。

6、これが通勤道路、足元用心。

カーネーションを胸に総会

母の日に西原炭婦協

五月八日母の日に西原社宅炭婦協では、宝屋映画館で総会並びに慰安会を開催した。定刻八時半会場に母の日と感謝を表す赤、白のカーネションを胸につけて集る会員及び子供達が会場一杯溢る中に、小島副分会長の開会の辞で総会が開催された。川野分会長は組織の強化を強調すると共に、組織の中に組織を作る事は組織の弱体化の原因であると挨拶し、来賓として出席した益田市議は、母の日の総会は意義が深いと共に女の地位を益々向上せしめると共に、企闘以来選闘迄協力した婦人の力は偉大なもので、選挙には絶大なる協力を賜はつた事を感謝しますと挨拶し地域分会を代表し山下政情部長は炭婦協地域分会は密接なる共同戦線によつて今後の闘いを推進せよと激励し、市村会計から十万円の収支の会計報告を行い、新役員を選出し、団結の歌を高らかに合唱し九時半盛況裡に総会を終了し、映画鑑賞会を行なつた。

西原炭婦協新役員

分会長	川野マサヨ
副分会長	大倉ミドリ
〃	山下コスヱ
会計	永野 玉枝
〃	杉野シマ子
総務	小島 梅香
〃	原 サチ子
事業部	城戸 敏子
〃	浦田ウメノ
文化部	山田 光子
〃	本多 勝子
監査	山野トモヱ
〃	金納 久子

太鼓・マイク活躍

躍進とげる大砂分會

大砂地域分会は最近太鼓、マイクを分会で購入して地域の堅めをぐんと強化し、早速この太鼓やマイクはメーデーや選挙当選の時高らかに打ちならされ、放送するなど大いに活躍しており、地域自慢の一つとなつているが、この分会の過去一年を振りかえつて同分会上田氏は次のように語つていた。

日常の闘争は勿論だが、文化面にも大きな発展を遂げて来た。例えば地道に堅実に進んでいるコーラスなども大きく活躍をとげ、メーデー前夜祭にも遙々出場するなどや長崎の平和集会にも地域代表を派遣しこれに出席して感銘し、地域でも平和運動を起さなければならないと地域の人たちが立上り、一楽劇場を借りて文化的な催しや平和講演会などが盛大に行われた。また昨年暮組合が行つた生活対策などにも本当に困つている人に保証人のなり手がないというときに、地域の役員が走り廻り献身的な世話をして呉れるなど、こんないろいろの力が今度の太鼓マイク購入となつたものと思う

俳句

メーデー俳句會

四山円虹俳句会では去る五月一日のメーデーの日に、大牟田の生長の家会館に集つてメーデー俳句会と銘打ち労働者の祭典を祝つて俳句会を催した。

田中 末草

雲破るひよメーデーの旗打振る

メーデーの肩組めば鳴る鉱夫の血

清本はるき

メーデーや少女三百の胸白し

病窓にもたれデモ出づ旗を送る

高木 坑衣

メーデー前夜妻も焼酎飲み唄ふ

坑を出づメーデーの朝どこまでも澄む

上田 圭浪

街路樹幼くわが町にメーデ歌流る

メーデー歌子負ひし男口ひろし

田中津根を

メーデー歌一電柱を揉みつくす

保守派退潮メーデー街を覆ひ尽す

永野 鼎衣

妻激し金属音のメーデー歌

天に地に意識灼けつく労働祭

救援カンパ集る

佐世保炭鑛へ愛の手

既報、思わぬ変災で苦しい状態に追い込まれた佐世保炭鉱の同志たちに温かい愛の手をさしのべようと、母の日の行事を兼ねて行われた赤いカーネションによる救援カンパは、決定後数日しかない短時日という困難さにも拘らず、炭婦協会員の協力と役員の熱意が実を結び、去る十三日本部で行われた分会長会議にカンパ額を持寄つたが、総額四万一千円の浄財が集まつた。

このカーネションのカンパとは別に、苦しい同志のためにと資金カンパを申し出る熱心な人も続出、約七百八十円余の寄付金が集まつている。

丁度このカンパを行う時には既に学校の方から各家庭に配られたところもあるなど心配された分会もあつたが、炭婦協のことでしたらと進んで協力を惜しまぬ態度を見せられ余計な分まで買つてくれるところもある等役員を感激させている家もあり、また個分会などでは分会で買うなど非常な協力が払われた。

この愛の寄金で集められた総計四万一千七百余円の内から利益金を取り出して早速佐世保の同志に送られることになつている。

野田副会長談 非常に日数が短かかつたのにも拘らず幹部の人たちの協力や、会員の人々の炭婦協のためならという協力的な気持がこんなに多額なカンパとなつたと思い感謝しています。

三作田川を敗る

熱戦の卓球招待試合

三作卓球チームは去る八日の日曜同所講堂に田川チームを迎え、招待試合を挙行。単、複混合で激しい熱戦を展開したが、この日三作チームはコンデイションの不調を克服して、見事七対四で田川チームを降した。

この試合は、昨年の三鉱卓球大会で三作チームが優勝したが、この時、人事課長に鉱業所で一番強いチームと試合を行いたい旨要請したところ、課長の承諾があり、先月中旬ごろ田川チームを迎えて試合が行われることになつていたのが、去る八日の試合となつたものである。

木下選手談

予想通りいつた。出場メンバーからみて最後の方が接戦を予想されていたが、前半、後半とも三作チームがリードして快勝した。この日、選手のコンディションが非常に悪るく、心配していたし、また会場が非常に暗くやりにくかつたが、試合は硬式で行われた。田川の方は軟式で練習していたそうであり、こちらは硬式だつたので、そういう点も多少試合に影響したであろう。

試合成績

三作　田川

森田　1　2　津田

吉富邦　2　1　0　冨永

（吉富昭　2　1　田中 三浦）

三作に將棋名人

森下氏タイトル獲得

名人位を獲得〝喜びの森下氏

大牟田将棋連盟ならびに大牟田日日新聞共同主催の大牟田地方将棋名人位争奪戦は、去る五月八日午前八時三十分より、花園町、大牟田将棋会所で開催されたが、各方面より粒選りの棋士約四十名が之に参加し、名人位をめぐつて華華しい争奪戦を展開した。

中にも三作支部の工務係森下博氏は、緒戦より鋭い実力を見せ、並みいる新鋭古豪を次々と倒し、見事に優勝して晴れの名人位を獲得した。

今年二十三才の森下新名人は、若若しい笑顔に喜びの色を包みきれずこう語つた。

「何と云つてよいか、たゞ嬉しいという外はありません。これも偏に栗植先生はじめ、三作将棋研究会御一同の御指導と、御鞭撻の賜と、深く感謝致しています」（三作発）

大牟田地區豫選十五日火蓋

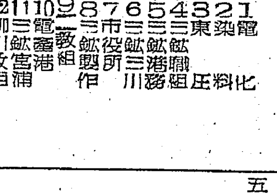
全國勞組陸の祭典

一千万勤労者の陸の祭典、全国労働組合体育大会が今年は第八回を数へ愛媛県松山市で十一月二十二二十三の両日にわたつて開かれる。九州大会は十月十五、十六日大分市、福岡県予選は八月下旬福岡市でそれ〴〵開催される。大牟田地区予選は五月十五日の排球を皮切りに次の日程、組合せで競われることになつた。昨年は排球は港務支部、野球は宮浦支部 卓球男子は三鉱労組、女子は本所支部チームが大牟田地区代表として県予選に出場、惜敗したが各支部とも今年は大いに張り切つている。

排球

五月十五日 延命コート 午前九時 雨天の際は二十二日

【男子】



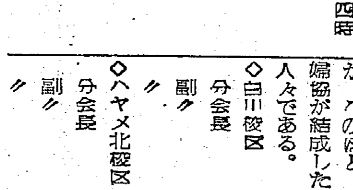
1 電化
2 染料
3 東圧
4 三鉱職組
5 三鉱港務
6 三鉱三川
7 市役所
8 三鉱製作
9 三教組
10 電産港
11 三鉱宮浦
12 柳川教組

【女子】

三池食品—合成

野球

五月十七日よりウイークデー 於延命球場 午后四時

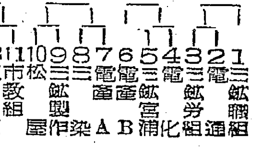


1 三鉱職組
2 市教組
3 三鉱本所
4 全逓
5 東圧
6 合成
7 三染
8 三鉱宮浦
9 三鉱三川
10 市役所
11 三鉱港務
12 三鉱製作
13 電産港
14 電化

卓球

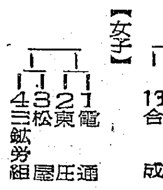
五月二十二日（雨天の際はウイークデー） 於三鉱体育館

【男子】



1 三鉱職組
2 電通
3 三鉱労組
4 電化
5 三鉱宮浦
6 電産B
7 電産A
8 三染
9 三鉱製作
10 松屋
11 市教組
12 東圧
13 合成

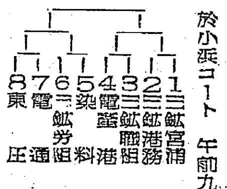
【女子】



1 電通
2 東圧
3 松屋
4 三鉱労組

庭球

五月二十二日 於小浜コート 午前九時



1 三鉱宮浦
2 三鉱港務
3 三鉱職組
4 電産港
5 染料
6 三鉱労組
7 電通
8 東圧

外來炭婦協結成

宮浦支部一應終る

宮浦支部では選挙闘争と併行して炭婦協の結成に拍車をかけていたが、このほど、ほとんど外来の炭婦協が結成した。なお役員は次の人々である。

◇白川校区

分会長	中山スミ子
副〃	北原ナミヱ
〃	木山 フキ

◇ハヤメ北校区

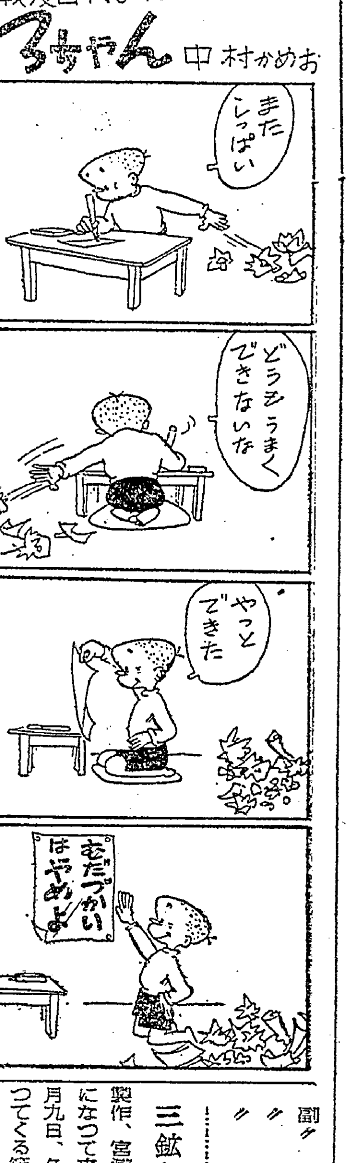
分会長	松本マサエ
副〃	吉田トシヱ
〃	野口トシ子
〃	松尾シトヱ

◇平原校区

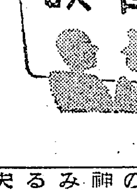
分会長	加倉テイ子
副〃	今村ヘスエ
〃	吉田 トシ

◇上官校区

分会長	池田ツチヨ
副〃	武田アイ子
〃	宮崎スヱ
〃	園田アヤ子


連載漫画 NO 18
中村かめお
またしっぱい
どうもうまくできないな
やっとできた
むだづかいはやめよ

映画



麦笛

少年心理を描く

少年期から成年期へかけて成長して行く人間のだれもが直面する歓びと哀しみの心理的な葛藤を明るく健康的に永遠につながる姿を描く文芸ドラマ。

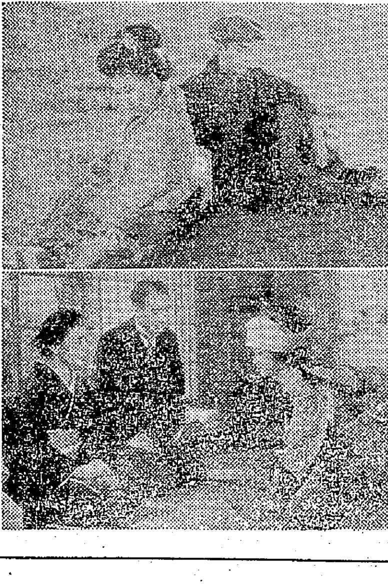
時代は大正中期岡山県倉敷の由緒ある寺の跡取息子伸夫（久保明）は茶屋の娘お玉（青山京子）に初恋の感情を抱きながらその気持ちを処理するすべを知らない。はにかみが彼を一層むつつり屋にして怒りつぽくさせるだけである。このほのかな初恋の感情とは別に寺のさい銭盗みに来る年上の蓮葉女お松（越路吹雪）の妖艶な姿、胸のときめきを覚える、思春期の精神的な悩みがお玉を、肉体的な悩みがお松を対象として描かれている。はにかみやでむつつり屋の伸夫とは正反対の存在として、彼の親友である早熟な少年表（太刀川洋）彼はいつも女のにおいの中で暮している髪結の息子、表もお玉が好きだが、この二人のお玉の愛し方には大きな相違がある、内攻的な伸夫と陽性な表、この対比も面白い。

伸夫、お玉 表を中心に少年の異性に対する慕情、性への目覚めが今までの思春期映画より心理的な陰影を濃く出して描かれており、少年時代へのそこはかとなき郷愁をそそるものがある。

倉敷ロケを巧く生かし地方色がさわやかな印象を与える、三浦光雄のキヤメラが傑れている。

十九の花嫁

暖いホームドラマ



母の愛情の中で弟と共に育つた友子は明るく清らかな現代女性である。

友子の伯父瀬尾浩三は五十一才という年令にも拘らず淋しい一人身だが俳優の仕事に情熱を傾け苦しみから逃れるが友子を見つめる目にはたまらない程の哀しみがかける。浩三は友子の父である、だが不幸な青春の終りに母を知らない幼児を抱いた浩三は妻瑤子の姉常子にあずける。だがこの秘密は友子が花嫁となる日いづれは話さねばならぬことである、順二という恋人を得た友子はその兄吉川氏の店につとめていた。

常子に吉川家の好意を考えてせめて友子の夢は破らずに吉川家だけでも本当のことを話そうという浩三の言葉…これを良一が知つてしまう。吉川と合つて一切を告白した浩三は吉川の好意ある言葉に触れて涙にむせぶ、その頃友子も常子から事実を聞かされ不幸な父の半生を想い、永い間常子一家の生活をそつと支えてきた父の誠意に「お父さん」とすがりつきたいが浩三の静かな生活をこわさぬ為にも伯父と呼びつづけなければいけない…

嫁ぐ日も近い一日浩三は友子を誘つて修善寺に遊ぶが名乗れぬ父と娘はお互いの胸をさぐりながら会話を交す。

監督		小石 栄一
森原	常子	三宅 邦子
〃	友子	天路 圭子
〃	良一	井上 大助
瀬尾	浩三	山村 聡
吉川孝太郎		山形 勲
弟	順二	波島 進

メーデー記録映畫を作成

福岡県下のメーデー記録映画を作るため東京から清水カメラマンが廿八日来牟、メーデー映画祭を撮影したが、五月一日には同じく大島カメラマンが来牟、早朝より撮影をはじめた。これはメーデー記録映画として全国に紹介される。

三鉱剣道部初優勝

製作、宮浦をはじめ剣道がさかんになつて来た。三鉱剣道部では五月九日、久留米を中心に剣士が集つてくる篠山神社藩祖入城祭記念第二回剣道大会に出場し見事優勝の栄を勝ち得た。

〔選手〕

先鋒	初	毛利 久勇	三作
四将	初	前原 輝男	宮浦
中堅	二	川口 節富	宮浦
副将	三	渡辺 正則	三作
大将	三	久保田哲也	宮浦